

書類のみで確認

氏子総代会

新型コロナウイルス防止の緊急宣言が発令されている中、令和三年度の氏子総代会は、今年も各自自治会会長、顧問及び自治会選出理事に書類を送り、確認して頂く方法を取りました。「書面議決書」回答者数39名のうち32名の回答があり、第1号から第5号の各議案は賛成多数で成立しました。役員改選では、顧問・有沢守(羽根新)、金岡貴裕(塚原)、会長・蒲田政彦(分田)、副会長・野村信孝(上田島)、佐々木哲夫(田島)、久郷英邦(羽根新)に決まりました。

新会長決まる



新奉賛会会長 蒲田政彦

この度、鵜坂神社奉賛会会長を仰せつかりました蒲田政彦です。

氏子の皆様、先代会長に引き続きまして、宜しくお願い申し上げます。

御存知の通り当神社は、今から約二千年前に創建され、奈良時代の初期には、高僧行基によって二十四院七堂伽藍を建立し、平安時代には、神階従三位となり、明治六年の社格制度で県社となつて以来、今日まで格の高い越乃大社鵜坂神社として、皆様方より崇拝されて参りました。昨今の新しい時代に合う様に、皆様から改めて崇拝される神社となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

大伴家持彰徳祭

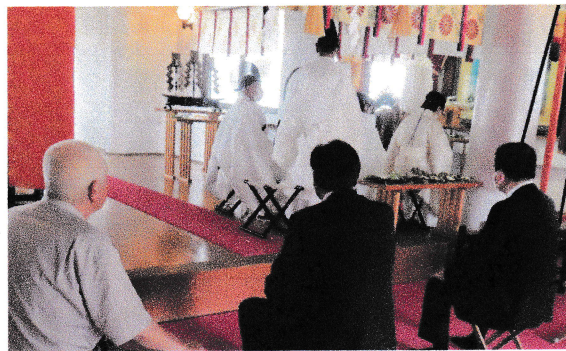
夏祭 除蝗祭
鵜坂寺別当慰霊祭

六月十六日(水)十時より、大伴家持彰徳祭、鵜坂寺別当慰霊祭、夏祭がコロナ過の中、全員マスクをして斎行されま



笛を奏でる祭員

した。
大伴家持彰徳祭は、天平二十年(745)国内巡察に出た



大友家持彰徳際



鵜坂寺別当慰霊祭

越中国司家持が売比野(めひの・旧婦負郡)に入り、越の大社鵜坂神社に詣で、神通川で鵜飼を賞でた。鵜坂寺別当慰

霊祭は、白鳳期(七世紀後半)

に創建された真言宗鵜坂山(別名 高柳山)鵜坂寺、鵜坂神社の別当として多くの社僧、大伽藍を有したが戦国時代の兵火や度々の水害により衰退し、明治三年廃仏毀釈により廃寺となる。現在は、境内の一隅に僅かに墓石、五輪塔を残すのみです。

夏祭(田祭り・除蝗祭)は、蝗(いなご)などの害虫に合わないよう祈願、五穀豊穰を祈ります。

吊殿

工事前の片付け

6月12日(土)朝から役員6名で 廊下の片づけを行いました。灯籠は天井裏から通して配線がしてあり、外すのが



廊下の額片付け



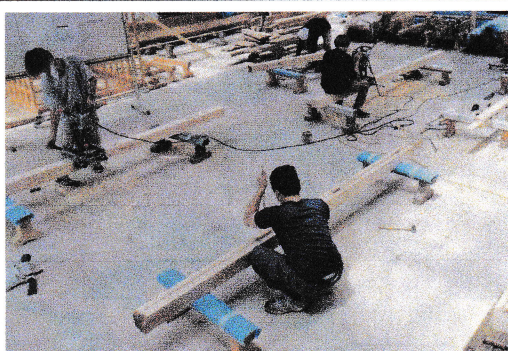
灯籠の配線確認

大変でした。

職芸学院で 部材加工始まる

7月13日(火)職芸学院からヒノキの材料が入荷。全生徒で加工している写真報告がありました。

夏休み中なのに加工授業が



ヒノキの柱を加工

あり、夏休みが終わった頃から現地解体、組み立てが始まるようです。改築工事が完了するのは、10月末とじています。